

PRESS RELEASE



2014年2月13日

ボランティア、語り部、街歩き、舞台、写真展 3月実施の多彩なプログラム「だから、石巻へ行こう！」

来月、東日本大震災から3年を迎えます。震災直後から現在まで、宮城県石巻市を中心に支援活動を行うピースボート災害ボランティアセンター(以下、ピースボート)では、県外からも多くの方が石巻市に足を運び、当時と今を知ってもらうための「だから、石巻へ行こう！」プログラムを実施します。

石巻市は、震災で最も大きな被害を受けた街のひとつです。現在も、1万4千人以上が仮設住宅での暮らしを余儀なくされているほか、地元経済を支えてきた水産業も震災前レベルに回復するにはまだ多くの時間と工夫が必要です。また、宮城県内外から延べ30万人ものボランティアとして石巻市を訪れ復旧を後押ししましたが、震災から3年を迎えるなか、東北被災地を訪れる人は少なくなってきました。

2014年3月にピースボートが行う9つのプログラムは、「いまできるボランティアに参加したい」、「初めてだけど、東北被災地に足を運びたい」、「自分が活動したボランティアの現場をもう一度見たい」、「今後の防災・減災に役立てたい」など、それぞれの目的に合わせ、全国から幅広く足を運んでほしいと企画したものです。報道関係者の皆様にも、ぜひ事前告知や当日の取材などご協力いただければ幸いです。

■ 「だから、石巻へ行こう！」プログラム概要

【期 間】2014年3月1日～31日 ※プログラムごとの実施日程は下記参照

【場 所】宮城県石巻市

【プログラム】

- ① [ボランティア] 牡鹿半島の浜で漁業支援&漁村体験 (毎週土曜日～翌金曜日の1週間滞在型)
- ② [ボランティア] 仮設住宅入居者への情報紙配達 (3/8-9、3/21-23の各週末2,3日間)
- ③ [視察&交流] 牡鹿半島・牧浜の漁村を訪問、震災体験を聞き、漁師と交流 (3/1の1日間)
- ④ [防災減災] 防災セミナー「災害ボランティア入門」(3/15午後)
- ⑤ [防災減災] 語り部による震災体験を聞く会 (3/8、3/22の各午前)
- ⑥ [防災減災] 震災と復興を振り返る市内街歩き (3/9、3/15、3/29の各午前)
- ⑦ [防災減災] 地元の若者による朗読劇、黙祷 (3/11午後) ---※1
- ⑧ [写真展] 震災直後から撮影を続けてきた鈴木省一氏の写真展「いしのまきのあさ」(3/6～3/30終日)
- ⑨ [舞台] ボランティアの葛藤を描いた「イシノマキにいた時間」(3/11午後、夕方) ---※2

【予 約】ピースボートセンターいしのまき TEL. 0225-25-5602 (10時～18時/金曜定休)

【詳 細】ホームページ http://pbv.or.jp/ishinomaki-psen/volunteer/20140311_events/

※1 実施するのは石巻市出身の高橋さやかさん。2011年3月11日は、市内の職場で被災。2013年、「石巻ユースアンバサダー」に選ばれ、世界各地で震災体験を語った。朗読劇はさだまさしさんの「風に立つライオン」。

※2 自身も長期でボランティアに参加していたコメディアン福島カツシゲ氏が作・演出。出演は同氏、石倉良信氏、田口智也氏。全国各地で公演を行っている。公式ホームページは <http://www.ishinomakitime.com/>

● このリリースに関するお問い合わせは、

ピースボート災害ボランティアセンター TEL. 03-3363-7967 MAIL. kyuen@pbv.or.jp